

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

滑川西地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①中滑川駅前	中滑川駅前の利活用について、今後地元説明会があるとのことだが、昨年の「市長と語る会」で質問した際は市である程度方向付けをしてから地元の説明するとのことだった。説明会の際には方向性が示されるのか。	中滑川駅前の利活用について、昨年度、他自治体の再開発等の事例を視察してきました。その中で「先に市内部の考えを示すと上手くいかない」というアドバイスがあったことから、方針を改め、まずは地元の皆様のご意見をお聞きしてから次の段階へいきたいと考えており、来月（6月）、地元へお伺いすることとしています。
②火災予防	市内で火災が相次ぎ、特に高齢者や一人暮らしの世帯が心配である。消防の巡視において、他市では女性署員が各家庭を訪問している例もあると聞いている。市でも様々な方法で火災予防の取り組みを強化してほしい。また、各家庭に手軽に扱える消火器等のPRもしてほしい。 魚津市・黒部市では民生委員と消防署員が各家庭を訪問している。また、火災報知機を設置等しているとも聞く。	火災予防の取り組みとして、住宅用火災警報器の設置義務化から10年経過したこともあり、平成29年3月の市広報に火災予防に関する折り込みチラシを同封したほか、毎月1日・15日や強風・乾燥注意報発令時に消防車の鐘を鳴らし市内一円を巡回しています。女性消防署員は市にはいませんが、女性消防団員の方が消防署員と共に各家庭を訪問しています。手軽に扱える消火器については、確認のうえPRしていきたいと考えています。
③消防団員確保	寺家・田中校下は消防団員の確保が難しい状態である。何か特典を付けないとなり手がない。	消防団員の確保は重要な問題であり、特典の付与については検討しますが、現在、消防団員の方には、総合体育館と温水プールを無料で使用できる優待を行っています。
④防犯灯	今年度、LED防犯灯の設置に係る国の補助事業があると聞いているので活用を検討してほしい。また、魚津市で市所有以外の街灯・防犯灯を市が全てLEDに交換したと聞いた。	国のLED防犯灯の補助事業は4年程前にもありましたが、市所有の街灯・防犯灯については検討の末、活用を見送っています。今年度の国の補助事業については確認をして、有利なものであれば活用を検討します。 魚津市の事例については、事実確認します。
⑤下水道整備	沖田川の下水道整備の進行状況が知りたい。	沖田川の下水道整備について、平成26年度にどのような方法が良いか調査したところ、川の石積みにコンクリートを被せる工法が費用・工法的に良いという結果が出ています。事業実施には国の交付金を活用したいと考えていますが、交付金額が年々減っていることや、上記の工法では川の断面が狭くなることから、地元のご理解が必要であり、事業の着手には至っていない状況です。

H29春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨に対する進捗状況について

滑川西地区

提言等の項目	H29春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑥消火栓・防火水槽	先日火災があった田中町に隣接する田中新町の一部において、どこに消火栓があるか分からない箇所がある。また、こまどり遊園の防火水槽は貯水量が少なく使えないと聞いたが、もし火災があった際はどこから水を確保するのか。	消火栓や防火水槽は、目印となる看板等も含め毎年点検をし、必要な維持管理を行っていますので、水が使えないということはありません。また、それぞれの位置については消防署員なら全て把握しています。国が定める基準では、市街地においては半径120メートル以内に消火栓を1基設置することとされており、市では概ね基準に合致していると認識しています。また、2,000リットルの水を積載した消防車等を配備しているほか、火災の規模に応じて、市内外とも連携できる体制をとっています。 なお、火災時の用水確保は、水門の管理等、隣接の町内間でも連携できる体制づくりが必要と考えていますので、ご協力をお願いします。
⑦交通	都市計画道路の加島町下島線が拡張されたことにより、周囲の交通量が増えたが、県道黒川滑川線の踏切部分は幅が狭く、朝の時間帯は、通学の小・中学生及び高校生が横断するため特に危険である。また、市道滑川・富山線との交差点部分も同様に通学の子もたちが多くおり、多少車の渋滞が発生したとしても安全を守るため、信号機を設置してほしい。 また、同箇所は勾配の関係で融雪装置や川の水が溜まる箇所があるので対応してほしい。	既に県の事業として、県道の拡張について測量や詳細設計等が実施されているところですが、踏切部分は鉄道会社との調整があることから、県内の他の箇所も含め毎年2箇所程度、順次整備されており、その順番待ちという状況です。 信号機の設置については、子どもの安全を守るため、早急に対応するにはどのような方法があるか、まずは警察署と現場確認をします。同箇所の水が溜まることについては、来月に市の建設部職員が路地点検として寺家・田中校下を回る予定ですので、その際に同行いただき、他の懸案箇所と併せてご指摘をお願いします。
⑧独居老人	老人クラブや民生委員等が独居老人宅を訪問しようとしても、その情報を把握している市は個人情報ということで教えてくれない。地域の安全・安心のためもう少し柔軟に対応いただきたい。 過日、町内で独居老人の孤独死があった。支援が必要な方の情報について住民票の有無に関わらず、市が対象者に了解を取るなどして提供いただけないか。 また、市から提供される名簿の情報が古く、実情と違う場合があるので、適宜更新してほしい。	高齢者や援護が必要な方等については、町内会長や民生委員の皆様と情報共有しており、近年、一年ごとに更新した名簿を提供しています。 また、住民票のない方については、関係各所と連携し、社会福祉協議会のケアネット事業等で対応を行っています。 今後も、地域の方や市で、お互い注意し合いながら対応していきたいと思います。